

# 成田地区社協だより

令和6年3月発行 第53号  
編集発行:成田地区社会福祉協議会 広報部会  
電話:成田市社会福祉協議会(代)0476-27-7755



まず隣 「和」と「輪」でつなぐ 愛の手を



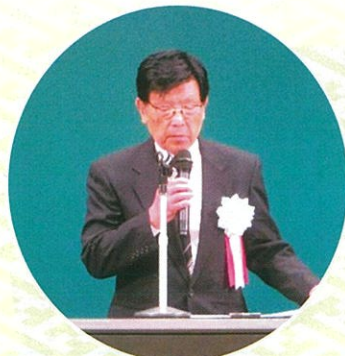
## 4年ぶりに成田地区敬老会を開催



成田地区社会福祉協議会は、成田市及び成田市社会福祉協議会との共催により、令和5年9月10日に、成田国際文化会館で成田地区敬老会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、4年ぶりとなりました。

式典では、印宮 昭夫 成田地区社会福祉協議会長、小泉 一成 成田市長、山田 三雄 成田市社会福祉協議会長からごあいさつをいただきました。

その後、「お楽しみ芸能発表会」を開催し、参加者の皆さんに楽しんでいただき、「敬老の日」をお祝いしました。



印宮 昭夫 成田地区社協会長



「お楽しみ芸能発表会」を楽しむ参加者の皆さん



# 「4年ぶりの成田地区敬老会」に思うこと

成田地区社会福祉協議会 会長 印宮 昭夫

台風13号が気がかりでしたが、敬老会の一週間前の気象情報で、熱帯低気圧に変わって消滅することを確認できましたので、実施することを決定しました。成田地区社協の理事・スタッフ、市及び市社協の共催者、成田小学校PTAの皆さん合計59人の方々にお手伝いをしていただきました。前日は、準備とリハーサル等があり、市社協の職員、成田地区社協の理事、成田国際文化会館職員で舞台の横断幕等の設置、外看板の設置、お茶・プログラム・式次第の袋詰め作業、各受付場所の設置、会場内の指定席の表示と確認、控室の案内表示の確認、救護所の設置等を行い準備完了です。

敬老会当日は、午前8時30分に全員が会場入口に集合し、開場と同時に全員がベスト着用で担当の持ち場で待機、送迎バス（1号～4号車）担当者は、同時刻までに各乗車場所に直接集合し、高齢者に付き添って会館まで同乗。午前9時30分、受付を開始し、持参したハガキと引き換えに、お茶とプログラムのセットとお弁当引換券をお渡しし、案内係が会場内に案内するという段取りです。

式典後、10時30分から12時まで、「お楽しみ芸能発表会」を開催しました。今年は、成田小学校合唱部、美郷台小学校合唱部、幸町女人講、成田シニアアンサンブル青空の4団体の方々ボランティア出演してくださいました。高齢者数約400人、一般来場者数約500人、合わせて約900人の方々最後まで観賞されました。



成田小学校合唱部の皆さん



美郷台小学校合唱部の皆さん



幸町女人講の皆さん



成田シニアアンサンブル青空の皆さん

三位一体と申しますが、敬老会は、主催者と出演団体、そして参加される高齢者の皆さん、この三者が一体となってはじめて成立します。特に参加される高齢者の皆さんは、欠かせない存在です。できる限り多くの高齢者に参加していただきたいという思いは、他の地区の敬老会主催者も同じだと思います。

市主催から三者共催による地区敬老会を行うようになって9年目になりますが、皆さんのご理解ある参加ご協力のおかげにより、大過なく開催できましたことに改めて感謝を申し上げますとともに、今後ともどうか宜しく願い申し上げます。



## 「昔遊び」に参加して

成田地区社会福祉協議会 児童部会 床井 俊夫

令和5年11月7日、付属小学校の1、2年生74人の昔遊び（お手玉、おはじき、あやとり、メンコ、けん玉、こま回し）の遊び方支援に、地区社協の会長外16人の一員として、参加しました。

支援する大人たちは「遊びの名人」という立場です。「迷人」にならぬ様かつ名人に恥じない遊びの技を披露するために、事前に練習会を開催しました。「昔取った杵柄」とは言え、皆さん四苦八苦し、当日に備えました。



当日、子どもたちは、各学年それぞれ班に分かれ、思い思いに「昔の遊び」にチャレンジしました。初めてやる遊びもあり、子どもたちの興味津々真剣な眼つきを見て、名人たちもしっかりやらねばという想いを強くしました。私が担当した「こま回し」は紐の巻きつけ方、回すための投げ方などを説明し遊んでもらいました。小さな手で紐を巻きつけたが途中で緩んで再度巻きつけたり、悪戦苦闘の連続でしたが、失敗しても次は上手に回すぞといった前向きな姿勢が印象的でした。欲を言えば、種目を絞り

時間をかけて楽しむこと、覚えてもらうことを来年以降検討するも一考と感じました。

あっという間に時間も過ぎ、最後に子どもたちから「楽しかった!」「また遊びたい!」という感想や感謝の言葉をいただき、微力ながら期待に応えられたかなと想う次第です。

児童憲章には、次のように謳われています。

- ・児童は人として尊ばれる
- ・児童は社会の一員として重んぜられる
- ・児童はよい環境の中で育てられる

これからもこの憲章に則り、いろいろな機会を通じ子どもたちの成長を見守りたいと強く感じた一日でした。



## 子どもたちの安全を願い 手作りの篠笛を贈呈

成田地区社協は、地区内小学校1年生に防犯用の篠笛を贈る活動を行っています。4年目となった今年も、中郷地区社協のご協力を得て、昨年11月から作成に取り掛かり、1月に各小学校に贈呈することができました。

作成に携わった地区社協の理事や包括支援センターの職員は、慣れもあり昨年と比べるとだいぶ手際良く作業ができるようになりました。しかし、音色だけは思うように出すことができず、相変わらず笛作りの難しさを実感していました。



集中して作業する理事たち



贈呈式（美郷台小）



ひとつずつ  
メッセージを添えて

完成した篠笛は、子どもたちの安全を願って、昔遊びの授業の支援活動の際などに各学校に贈呈しました。



# 「いきいきサロン」 合同バス旅行に参加して

成田地区社会福祉協議会 児童部会 山田てる子

穏やかな天候に恵まれ、令和5年10月12日に「いきいきサロン」で、ひたち海浜公園方面へバス旅行に行ってきました。美郷台・郷部・土屋、囲護台・新町・馬橋、南平台・不動ヶ岡地区総勢87人でのバス旅行でした。

ひたち海浜公園では、コキアが見頃を迎え、一面「赤」の世界に魅了されました。膝や腰に不安があり、歩くのは無理と思っていた人達も「臨時トレインが出ていますよ」の案内でコキアを間近で見ることができました。



青空の下 コキアとコスモスを満喫

そして、お待ちかねのランチ。「わぁ！豪華だねえ～」ランチ会場での第一声でした。お刺身、天ぷら、お肉、煮物・・・と食べきれない程のご馳走に驚きの声。

その後、おさかな市場、めんたいパークとショッピングも十分楽しみました。

車中では、久しぶりに会った町内の人達との話もはずみ、包括支援センターのスタッフさんによる成田市にまつわる豆知識をクイズで楽しんだり、松の木小唄の替え歌で脳トレしたりと盛りだくさんでした。



ランチも旅の楽しみ

過密スケジュールにもかかわらず、予定通り行ってこ

れたのは、参加者皆様のご協力のおかげです。それと、各地区役員による綿密な下見と数回に及ぶ打ち合わせの甲斐があつてかなと思います。

これからも「いきいきサロン」等の活動を通して、地域の皆さんが、明るく元気に過ごせますよう願っています。

過密スケジュールにもかかわらず、予定通り行ってこ

## 編集後記

広報部会では、年2回の社協だよりを発行しています。限られた紙面では多くの内容を報告できないのが残念です。

令和5年下半期の行事報告を通して、4年ぶりの敬老会・体験学習（昔遊び）・いきいきサロンなどの記事から、『ああ、これは』と興味や関心を持っていただければと編集に努めて参りました。

私の場合、「昔遊び」の記事中の「楽しかった！」「また遊びたい！」を見て、次回の体験学習への参加を決めました。子どもたちと共に、喜び・楽しさ・難しさなどを共有できることを願っております。

今後とも、社協だよりを通して、ホットなニュースをお伝えして参ります。 広報部会 H.K